

各 位

上場会社名 日本出版貿易株式会社  
 代表者 代表取締役社長 庵之下 博文  
 (コード番号 8072)  
 問合せ先責任者 執行役員事業管理本部長 岩崎 哲明  
 (TEL 03-3292-3751)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、23年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,830	156	120	70	10.03
今回修正予想(B)	8,130	107	76	9	1.29
増減額(B-A)	300	△49	△44	△61	
増減率(%)	3.8	△31.4	△36.7	△87.1	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	7,746	151	93	△394	△56.60

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,640	106	63	9.02
今回修正予想(B)	7,913	57	△3	△0.56
増減額(B-A)	273	△49	△66	
増減率(%)	3.6	△46.2	△104.8	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	7,555	79	△404	△57.96

#### 修正の理由

個別における売上高につきましては、外国雑誌、ペーパーバックの売上が伸びませんでした。K-POP関連を中心とした輸入メディア商材が増加したことにより伸張する見込みです。営業利益につきましては、洋書の売上減による減益により下方修正となる見込みです。また、経常利益は為替差損などの計上により下方修正となる見込みです。

連結におきましては原発事故の後遺症で外国人旅行者・居住者が激減しているなか、洋書は厳しい状況でしたが、輸入メディア商材が全体を牽引し、海外子会社も取り扱っている日本語教材などの売上が順調に推移いたしました。

以 上